



かみさと 議会だより

- ◇6月定例会の審議状況 …… P 2
- ◇8月臨時会の審議状況 …… P 2
- ◇6月定例会一般質問に9人… P 3
- ◇委員会レポート等 …… P12
- ◇9月定例会会期日程等 …… P14



【七本木手打ちそば愛好会】

毎月1回土曜日の9:00～12:00に七本木公民館で活動中。平成13年より活動を開始し、現在14名で楽しく蕎麦などを作っています。そば打ち体験教室の開催や、公民館まつりに参加しています。

※団体のご意向により、メンバーの氏名の掲載は控えさせていただきます。

【上里町茶道会】

毎月3回土曜日の9:00～12:00に七本木公民館で活動中。

上里町文化協会が発足した昭和46年から活動を開始し、現在14名で公民館まつりや文化協会のイベントに参加しています。

今後は小学校でのお茶の会やお茶の教室を計画してみたいです。



104

浜 健一氏(代表) 根岸 美枝子氏 新井 實氏 小川 美代子氏 松井 節子氏
藤倉 末子氏 岡田 純子氏 谷矢 一美氏 戸矢 優子氏 千木良 桐子氏

第3回6月定例会は6月4日に開会され、議員9名の一般質問と町長提出議案6件を審議して12日に閉会しました。

6月4日
12日

第3回 6月 定例会

◆ 条 例 ◆

上里町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例

要旨

満3歳児及び満4歳以上児の職員配置の最低基準の改正を行うものです。

◆ 道 路 線 廃 止 ◆

上里町道路線の廃止

要旨

払下げ予定のため、町道1路線の廃止をするものです。

◆ 令和6年度補正予算 ◆

上里町一般会計補正予算(第1号)

概要

歳入歳出それぞれ2億7914万9千円を追加し、予算総額を歳入歳出それぞれ110億2814万9千円とするものです。主な歳出の補正内容は次のとおりです。

- ・ 公共交通ネットワーク促進事業 1150万4千円
- ・ 定額減税補足給付金事業 1億7117万1千円

・ 住民税非課税世帯等給付金事業(第4回)
8103万4千円

上里町国民健康保険特別会計補正予算(第2号)

概要

主な歳出の補正内容は次のとおりです。
・ 総務管理事業 453万8千円

◆ 契 約 ◆

工事請負契約の締結

要旨

長幡児童館計画改修工事の工事請負契約を締結するものです。

・ 契約金額 8030万円

・ 契約業者 横尾建設(株)

・ 契約方法 一般競争入札

物品購入契約の締結

要旨

上里町消防団水槽付き消防ポンプ自動車購入の物品購入契約を締結するものです。

- ・ 契約金額 3781万8千円
- ・ 契約業者 日本機械工業(株)
- ・ 契約方法 指名競争入札

第3回6月定例会 議案に対する各議員の賛否

議 案		議 員 名													結 果	
		石井慎也	伊藤 覚	金子義則	戸矢隆光	高橋勝利	飯塚賢治	猪岡 壽	齊藤 崇	植原育雄	高橋正行	新井 實	沓澤幸子	高橋 仁	黛 浩之	果
上里町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議 長	可決
上里町道路線の廃止		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		可決
令和6年度	上里町一般会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		可決
	上里町国民健康保険特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○		可決
工事請負契約の締結		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		可決
物品購入契約の締結		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		可決

※議長は議事進行を行うため、可否同数の場合のみ表決に参加します。(○賛成 ×反対)

第4回8月臨時会は8月2日の1日間の会期で行われ、町長提出議案1件を審議しました。

8月2日

第4回 8月 臨時会

◆ 令和6年度補正予算 ◆

上里町一般会計補正予算(第2号)

概要

歳入歳出それぞれ8300万円を追加し、予算総額を歳入歳出それぞれ111億1114万9千円とするものです。主な歳出の補正内容は次のとおりです。
・ 定額減税補足給付金事業 8300万円

第4回8月臨時会 議案に対する各議員の賛否

議案	令和 6 年度			上里町一般会計補正予算（第 2 号）											
議員名	石井慎也	伊藤 覚	金子義則	戸矢隆光	高橋勝利	飯塚賢治	猪岡 壽	齊藤 崇	植原育雄	高橋正行	新井 實	沓澤幸子	高橋 仁	黛 浩之	結 果
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	可決

※議長は議事進行を行うため、可否同数の場合のみ表決に参加します。(○賛成 ×反対)

一般質問

金子 義則

問

子育て支援なぜ保育料の無償化が先か

答

結婚して家庭を持つ若い世代への政策のため

質問 1

子ども子育て支援について

問 今年度4月より埼玉県内町村初となる保育料の完全無償化が始まったが、なぜ子ども子育てにお金の掛かる小中学校の給食費無償化を後回しにしてまで優先させたのか。

答 保育料完全無償化は、若い世代の経済的負担の軽減を目的としているだけではなく、就労の促進や子どもを育てやすい環境にすることで少子化対策にも期待したものである。

また県内町村初の事業であることから、他の自治体との差別化を図る事で、移住・定住の促進が期待できると考え、比較検討した結果である。

質問 2

子供の通学路安全確保について

問 上里東小学校北側交差点の東西折車両等の原因でおきる渋滞により、渋滞を避ける車両が通学時間帯に生活道路に進入し、狭い通学路が大変危険な状態である。

答 渋滞緩和の為に通学時間帯の進入禁止やスクールゾーンの対策などもあるが、根本原因の東西信号機に右折専用信号を設置する対策が必要であると思うが、県に要望しては。

問 町道古新田四ツ谷線は平成25年12月に開通し10年が経過している。開通当初から考えると交通量の増加もあることから、まずは現状の渋滞状況を把握したいと考える。

現在、生活道路への進入に対する対策としては看板やのぼり旗の設置をしたところであるが、今後、この生活道路への進入原因の追究と右折信号の設置の可能

性も含めて本庄警察署と協議を行っていきたいと考えている。



質問 3

上里町内小中学校生徒児童の学力の向上支援について

問 今年度より英語検定試験の補助支援が小学生児童も対象となったが、英語検定だけではなく漢字検定や数学検定も対象とすべきではないか。

また、英語検定の補助事業対象級が3級以上となっているが、小学生も対象になることから対象級を5級からとすることは出来ないか。

答 教育長 令和2年度の学習指導要領改訂により、小学3・4年には外国語活動、5・6年には教科として外国語が導入され、小学

校での英語教育の推進がはかられている。

今年度より英語検定の受験機会を拡大するため補助事業を小学生まで広げたが、英語検定3級は中学校卒業程度となっていることから、基礎的な英語力を段階的に身につける為には4級や5級を受ける事も一つの良い機会だと思う。

また英語検定だけではなく、漢字能力検定や数学検定などを受験している小学生も一定数いるので、今後は英語検定の対象級の引き下げや英語検定以外の検定受験科目の拡大など基礎学力を図る方法として、その必要性和効果について調査研究を進め、実施について検討していきたいと考えている。





一般質問

新井 實

問 学用品の無償配布について

答 保護者の負担軽減のため調査研究する

質問 1
平和を学ぶことについて

問 領土の学習を通して児童・生徒たちが自分の国の領土の重要性について考える機会を設けることについて。

答 教育長 現在、小中学校では、領土問題に対して社会科学の授業を通じて指導を実施している。

文部科学省が示す学習指導要領では、北方領土、竹島、尖閣諸島などの領土問題について触れることが求められており、その重要性を強調している。

その上で、新学習指導要領で求められる主体的・対話的で深い学びを重視した授業が進められるように、学んだことを生かし、国際社会の平和の実現に向けて何ができるかなどのテーマを用いて、生徒たちが自ら考え、意見を交換し、理解を深めてきている。

領土問題を学ぶことは、より平和で公正な国際社会の実現に向けて自分たちに

何ができるかを考えさせるための大切な学習だと思っている。

これから領土問題については正しい理解を身につけ、主体的に考えられる児童・生徒の育成をしていきたいと思っている。

質問 2
学用品の無償配布について

問 小中学校補助教材の無償配布について。

答 教育長 町内小中学校の教材については、昨年度に令和4年度の状況を調査した結果、学年により違いはあるが、年間1万円を超える保護者負担をしてもらい、各種のドリルや授業で使用する教材を購入している。

ドリルや書道セット等の補助教材の無償配布については、子育てにかかる経済的負担を軽減するためには有効であると考えているが、全国的にも新しい取組のようで、実施することによる効果や影響などを見極める必

要があると思っている。

引き続き、教材の計画的な使用を行うとともに、少しでも保護者負担を軽減できるように、町内小中学校の教材について調査研究を進めている。

質問 3
埼玉、群馬県境に「巨大空港」構想が浮上していることについて

問 翔んで埼玉、空港が爆誕か。「埼玉・群馬県境に巨大空港」構想に大きな期待が高まっていることについて。

答 町としても、古くからつながりの深い上武と呼ばれるこのポテンシャルの高い地域に空港が誘致できれば、まさに上武連携地域の経済発展の大きな起爆剤となり、高付加価値のある鮮度の高い農産物、高級な加工食品、また工業製品など、この地域の誇る生産物を航空輸送で日本各地や海外に輸送できるものと考えている。

さらに、元日に発生した



能登半島地震の状況を踏まえると、万一、首都直下型地震があつた場合には、防災面からも羽田空港を補完する内陸部の空港となり、経済効果にとどまらず大きな可能性を秘めているものと考えている。

一方で、構想の実現に向けては空港を取り巻く規制や手法、住民理解の醸成といった諸課題がある。県境を越えた関連市町がしっかりと手を携え、防災・減災のみならず医療や物流など幅広い視点で議論を重ねていく。



一般質問

石井 慎也

問 消防団員の確保に力を入れるべきでは

答 消防団活動の見える化の推進を行う

質問 1
消防団について

問 上里町消防団には団長を含め110名の団員が所属しているが、年々新人団員の確保が困難になってきている。

町としても新人団員の確保に力を入れるべきではないか。

答 広報紙等による消防団活動の見える化の推進をしつつ、消防団員の活動を身近に感じてもらえるような、そして参加への興味を引くことができるような周知、PR方法の調査研究を行い、報酬及び手当に関わる予算の確保も継続していきたい。

問 新人団員の勧誘を行っても入ってもらえる方がいない場合、欠員が出るのを認めてもよいのではないか。

答 町としては定員割れを起こさぬよう、消防団員の皆様と一体となって、消防団として総力を挙げて団員確保に向けて取り組んでいる。

問 普段の整備や地道な消

防団活動の見える化はどのような事を検討しているのか。

答 SNSを通じて様々な訓練の様子を見せていくのも1つの方法かと思っている。

質問 2
熱中症対策について

問 体育の授業に予め身体を冷やしておき、体温の上昇を抑制する身体冷却を取り入れることについて。

答 教育長 水道水による流水で手や顔を洗い、身体冷却をする指導を継続していく。

問 冷たい水を得るために小学校に冷水機等を設置してはどうか。

答 教育長 直接口をつけて飲んでしまうことがあるため、衛生面から管理上の問題で学校には設置しないこととしている。

問 上里町の小学生はヘルメットをかぶって登下校を行っている。ヘルメットの中はあまり通気性が良くないため熱がこもりやすい。首筋もむき出しになっているので熱中症になるリスク

が高いと思われる。せめて夏場だけでもよいので通気性がよい帽子での登下校はできないものか。

答 教育長 児童・生徒の命を守るためにヘルメットを着用するように指導している。現在のヘルメットは以前よりも通気性がよく、軽量のものを選定している。

問 帰宅した子供たちは頭から汗をかき、髪の毛もびっしょりになっている。保護者の方々から子供たちがつらそうであるとの声を聞いているが、教育委員会にはそのような声が上がっていないのか。

答 教育長 ヘルメットが暑いということについては幾つか意見があったような気がするが、家に帰ってからというふうな事については上がってきていない。

問 子供たちはきつくても言えないことがあると思うので、学校を通して意見を集める事はできないか。

答 教育長 簡単なアンケートは手軽にできると思うの

で検討していきたい。

質問 3
小学校の外トイレについて

問 現在、男子屋外トイレに小便秘がない小学校がある。小便秘が無いと汚れが飛び散り掃除が大変である。令和6年度の予算に賀美小学校屋外トイレ改修工事費が計上されているが、小便秘の導入を検討してはどうか。

答 教育長 災害時での利用も想定し、大便器の底にある非常用排水キャップを外すことで、汲み取り式の災害用トイレとしても使用できる便器を採用しているため、屋外トイレには小便秘を設置せず、災害時に使用できるトイレが増えるメリットのある大便器のみとする。





一般質問

高橋 勝利

問 保育料の完全無償化が実現したが町民の声は

答 大変好評で感謝の言葉も多くいただいている

1 町長と二十歳代表との 新春対談について

問 町長は毎年二十歳を迎えた青年と対談を行って、対談に臨むテーマは何か。

答 将来を担う若者の意見や考えを町政に反映したいという目的で、町長に就任した平成30年度から始めた。

若者ならではのアイデアや素朴な疑問がある中で、駅北の周辺道路が狭いことや、北口しか改札口がない事が不便という、まちづくりに関する意見があった。

2 複合施設の 有効活用について

問 一般会計予算の三館複合施設や若者の未来応援給付金、子ども・子育て支援

事業は、子育て世代にとっては大きな支援であり、上里町に住んで良かったとの声が多く聞かれるが、この複合施設も多くの町民から建設されて良かったと言われる施設にしてほしい。

答 保健センター等複合施設は、誰もが安心して暮らせる

健やかで安心なまちを実現するために、健康増進、母子保健、地域福祉、高齢者等の元気づくりを支援する拠点の機能を集約し、単なる福祉施設ではなく、人を健康、地域を元気にできる施設としていくことを基本理念として事業を進めていく。



(仮称)保健センター等複合施設

3 災害派遣について

問 能登半島地震では職員を現地に派遣しているが、職員派遣に対する制度として危険手当等が設置されていたのか。

答 今回の被災地支援では延べ7名の職員を派遣した。

国では異常な自然現象により災害が発生した現場で行う巡回監視、応急作業また

4 子育て支援事業予算化 を受けて

問 保育料の完全無償化が実現したが町民の声は。また、給食費無償化実現に向けて、考えてほしいとの声に応える用意はあるのか。

答 保育料の完全無償化は保護者の方からは大変好評で、感謝の言葉も多くいただいている。事業についての問い合わせや確認も町内外からいただいております、この機会に就労したいという方や転入したいという方もいた。事業は子育て世代の経済的負担の軽減だけでなく、就労の促進による町の活性化、更には県内町村初の事業であることから、他の自治体との差別化を図る事で移住・定住の促進が期待

は災害状況等の調査等の業務を対象として、災害応急作業等手当が支給されることになっているが、当町では現在、災害応急作業等手当はないが、町内での災害発生時にも対応する災害対応手当等の必要性を感じている。

5 人口戦略会議が公表した報告書について

問 消滅可能性自治体について今回は神川町が加わり、美里町が脱却したが、その要因は何か。

答 分析結果が発表されたばかりであることから、他自治体の場合、将来人口に影響を及ぼす状況等も様々であることから、わからないというのが現状である。

なお、本町の今回の分析結果においては、分析に使用した将来推計人口が、前回に比べ外国人の入国超過数が大きく増加した事により、人口減少傾向は改善する結果となっているものの、実態としては少子化基調が全く変わっていない状況である。

できるためでもある。なお、給食費無償化については、実現するには限られた予算から費用を捻出しなければならぬ。必要な財源を確保するには、他の公共サービスを削減したり、新たな財源を確保する必要も出てくる。



一般質問

猪岡 壽

問 ゴルフ場報告会を開催したらどうか

答 町民への丁寧な説明や情報提供に努める

1 上里ゴルフ場地権者説明会について

問 1月21日、上里ゴルフ場地権者説明会が83名の地権者に対し開催された。

大方の地権者は町の説明に合意し、地代契約に応じたようだが、数人の地権者は合意に感じなかったようである。合意しなかった地権者の意見を聞くと、地代の金額だけの問題ではなく、ゴルフ場の現状の営業成績や将来の在り方等を地権者に十分に説明されていないので理解が得られなかったようだ。

答 今後は、地権者との説明会を年1回は開催し、地権者の理解を得てゴルフ場の継続をしていくことが町の財政には重要なことと思う。また、ジュニアプレーヤーを育てることが、ゴルフ場の将来のためには必要なことであるが、町長の見解は。

定期的な経営を前提とした町にふさわしいゴルフ場の姿について、時代に合った方向性を捉えることが重要だと思う。

ジュニアゴルフの養成についても、7月から実施が予定されるジュニアゴルフ・応援プログラムでは、食事つき1500円という特別料金でプレーが可能である。

また、地権者との意見交換会については、町民への丁寧な説明や情報提供に努めるとともに、ゴルフ場に対する意見をいただきたいと考えている。

町内外を問わず、多くの方から愛されるゴルフ場となるよう、地域の方々の意見をききながら、運営主体との連携を強化して行く。

問 最近のゴルフ場の予約がなかなか取れないが、入場者数の3年間の推移は。

答 令和3年度が5万1千人、令和4年度が5万人、令和5年度が4万9千人である。

2 小・中学生の英語教育について

問 競争が激しくなる世界で生きる上里町の子供たちに英語力を身につけて社会に送り出すことは、これまでの世の中をつくってきた我々大人の責務である。これからは、広く経済的負担のない公教育、義務教育がその役割を果たすべきだ。

そこで参考になるのが、さいたま市の取り組みである「グローバルスタディ英語教育」である。文科省の発表する英語教育実施状況調査では、さいたま市の子供たちの成績は全国で群を抜いてトップの成績だ。

同じ県内のさいたま市のグローバルスタディを範とした英語教育を実施すべく、さいたま市に問い合わせる視察や研究を迅速に進めるべきと思うが、教育長の見解は。

答 教育長 上里町では、外国語活動が始まる小学3年生とのつながりをスムー

ズにするために、学校の規模にに応じて小学1・2年生で外国語を学ぶ事業を実施している。

上里町教育委員会が開催している英語でしゃべろう体験では、小学3年生から6年生までを対象に、子供たちが英語に興味を持ち、学校で学んだ英語を活用できる機会を設けている。これは、さいたま市で進めている英語を学ぶ時間の増加やイングリッシュキャンプと重なる部分は大きいと感じる。

今後もしさいたま市を含め先進自治体の取り組みを調査研究し、実施可能な英語教育を取り入れていきたいと考えている。

「グローバルスタディ英語教育」とは…単に英語という言語を習得するためだけでなく、将来グローバル社会でたくましく豊かに生きる児童生徒の育成を目的として、カリキュラムを組んだ英語教育のこと。



一般質問



伊藤 覚

問 旧中山道の交通安全対策に町は何を行ったか

答 2箇所の交差点にベンガラ舗装を設置した

質問 1 県道勅使河原本庄線（旧中山道）沿線の交通安全対策について

問 前回の私の質問後に町が行った対応及び対策は。

答 前回の一般質問後に再度現場状況の確認をし、令和6年2月に町道中原・金久保線及び町道四ツ谷・金久保線の丁字路交差点の部分に、横断歩道があることを知らせるためのベンガラ舗装を設置した。

問 前回の再質問で、信号機が設置されるまでの対応策として提案した横断歩道標識への電光掲示板の設置要望に対し、町長は比較的短時間で実施することができ、また運転者の注意喚起を促し歩行者の安全確保につながることに期待できるので、警察や埼玉県に設置の要望を検討したいとの答弁だったが、まだ要望はしていないのか。

答 通学路の合同点検における電光掲示板の設置要望に対応するため、諸条件に

ついて本庄警察署と協議を行いたい。

問 前回の2箇所の信号機設置要望の質問に対し、「現在、町は児玉工業団地アクセス道路などの3事業を鋭意推進している中で、推進中の事業の進捗状況を踏まえながら調整したい」との答弁だったが、児玉工業団地アクセス道路事業が完了したので、設置に必要な下調べや沿線住民への下話等に力を注ぐことができるのではないかと。

答 丁字路交差点への信号機設置に伴う道路拡幅に着手できればよいが、いずれの路線も信号機設置の必要条件である歩行者の滞留場所がないので、現在のところ早期着手は難しい。また、埼玉県が実施するグリーンスポット整備箇所として当該場所も含め提出したが、採択には至らなかった。今後、整備箇所として提出し、信号機等の設置に向け協議を行う。

問 町道部分については、

町が動かなければ警察も県土整備事務所も動いてくれないと思うが。

答 本庄警察署長と定期的に会う機会があるので、その旨を伝え、協議に入れる準備をお願いすることは可能である。

問 事前に警察より交差点が物理的条件を満たしていない部分の資料を貰えば、職員による事前調査が可能では。

答 事前の話は協議の前段階として進めていきたい。



四ツ谷・金久保線丁字路

質問 2 小・中学校における金融教育について

問 小・中学校では金融教育についてどのような授業を行っているのか。

答 教育長 小学校では、

お金の重要性、予算の範囲内の買い物仕方、銀行にお金を預けると利子がつくことなどを学習している。

中学校では、家庭科でクレジットカードの仕組み、消費者の権利、責任などを学び、社会科では市場経済の仕組みなどグローバル経済を中心に学習している。

問 民法改正により、18歳から様々な契約が本人の意志だけでできるようになり、スマホがあれば、株やFX、暗号資産取引などを容易に行えるようになった。

小・中学校で金融教育の基礎を学べれば、高校の金融教育に向けたしっかりとした土台ができるのでは。

答 教育長 為替やFXに関する授業は実施していないので、金融庁主催の講演会や出前授業も検討し、発達段階に応じてお金の大切さや使い方、運用について指導したい。

FXとは「Foreign Exchange」の略、異なる国同士の通貨を交換すること。



一般質問

沓澤 幸子

問 町のプラ回収の回数増やせないか

答 町内にストックヤード検討の価値ある

質問 1
温暖化対策について

問 町の環境基本計画のごみ減量計画の現状は。

答 穏やかに減少傾向であるが、現状のままでは目標達成は難しい。途中の見直しは行わず、令和9年3月策定予定の第3次環境基本計画で全体の見直しを行う。

問 「プラスチック（以後プラ）資源循環促進法」に基づく、児玉郡市広域市町村圏組合によるプラ製品の回収開始時期と課題の検討状況は。

答 保管場所やストックヤードがなく、収集、運搬、分別に係る人員確保や委託業者の選定などが必要である。国等への要望を視野に検討している。

問 ごみ減量達成はプラ回収にかかっている。3年以上も進まない保管場所について、広域では1か所を検討しているのか。それ以外に各市町で検討する議論はしていないのか。また、広域

の検討はプラ回収開始の期限を決めて行っているのか。

答 広域圏ではごみ排出について多少温度差がある。いつまでという具体的なことは明示できないが、各市町でストックヤードを検討することは提案したい。

問 町が独自で実施している小型家電回収と一緒に実施しているプラ回収の状況と費用は。

答 昨年10月と今年5月で4820kgを無償で近隣のプラ回収事業者に受け入れてもらい、プラ製品材料として活用された。今後も継続的に実施したい。



小型家電、製品プラスチック回収

問 小型家電と切り離して、町のプラ回収の回数を増やせないか。

答 ストックしておいて、年2回の業者の受け入れ能力もあるが、回収する方法もある。町内にストックヤードが出来るか検討してみる価値があると思う。なお業者は、来年度は費用負担がかかる可能性を示唆している。

問 製品プラの他に菓子袋などの包装プラの回収拡大や、洗剤等の量り売りについて各店舗に協力をお願いしたのか。

答 町内の量販店等を含めプラごみの受け入れポストをお願いすることはできると思う。

問 二酸化炭素（温室効果ガス）削減に向け町が強化する課題はなにか。

答 国（町も同じ）の目標値、30年度に13年度比46%減は最低限の基準であり、高みを目指す必要がある。町として更なる補助制度の支援策も含め、脱炭素化の周知、啓発に努める。

問 さいたま市が実施した国の交付金を活用した省エネ家電買い換えキャンペーンが好評だった。町でもエコ家電購入補助の実施を。

答 活用できるものがあれば検討していく。

問 物価高騰、電気代の値上げで節電対策として住宅の断熱化の関心が高まっている。住宅改修資金補助制度（住宅リフォーム制度）は、断熱を含む高額な改修工事の上限5万円の引上げ検討と、世帯当たり1回の利用回数を見直す考えは。

答 補助上限額の引き上げの意見もあるが、広く平等に利用頂くことを優先している。

問 幅広く平等にはもっともだが、制度発足から20年ほど経過し、再度リフォームの必要も出てくるし、地域事業者の活性化につながる制度なので拡充を。

答 利用者の色々な声を聴きながら検討したい。

※他に、次期公共交通の計画についても質問しました。



一般質問

齊藤 崇

問 物価高騰等に対する町の支援策は

答 国・県の補助制度等を総合的に判断

質問 1 町民の声について

問 町民から幅広く「アイデア募集」をして、これぞと思われるアイデアを事業化する考えはあるか。

答 町民の声に耳を傾けることは大変重要である。また、町民に寄り添う町政運営を心がけてきた。

昨年度は「ゼロカーボンシティ宣言」を表明し、5月にゼロカーボンシティをテーマに絞ったアイデア募集を実施した。このようなテーマを絞った手法も引き続き検討するとともに、今後各課で取り入れられる事業があれば、広く町民の意見を聞きたい。

質問 2 育児休業について

問 育児・介護休業法は平成4年に法制化され、その後数回改正され令和4年4月から段階的に施行された。男性の育児取得率については、徐々に上がってきてはいるものの依然として

低い状況である。

そこで、率先して公務員が取得してはどうか。町の職員で該当する男性の取得状況及び取得率は。また、取得をどのように促進しているのか。

答 過去3年の取得状況は令和3年度に3名、令和4年度に7名、令和5年度に4名が取得した。本年度も前年度からの継続になるが2名の職員が取得している。令和5年度の取得率は80%となっている。なお、町内企業における育児休業の取得率は把握できていない。

町では、「上里町における女性職員の活躍に関する特定事業主行動計画」及び「上里町次世代育成支援特定事業主行動計画」について、令和5年4月に後期計画を策定した。

これらの行動計画は、職員がワークライフバランスを尊重し、仕事と家庭の両立を目指し、各種目標を立て、職場環境を改善していくというものであり、両計画において男性職員の育児休業取得促進を図っている。

質問 3 経済対策について

問 昨年に引き続き物価高騰が高止まり、更に為替が1ドル155円、ひどいときには157円で推移している。

今年4月の食品の値上げ

品目は約2800品目、7月までで約6700品目と予想される。これに合わせ

て公共料金や保険料も増加。国は6月から「定額減税」や「10万円給付制度」等を実施するが焼け石に水の様相。

町として町民に対する経済支援を考えているのか。

答 ロシアのウクライナ軍事侵攻、そして中東紛争の長期化により社会情勢がさらに悪化。円安をはじめ各種食品の値上げ、国の負担



軽減措置はされているが、原油・電気・ガス料金は今後も不透明である。このように様々な物価高騰が発生し、町民の生活などに大きな影響が出ていることは認識している。

昨年度は国の交付金と財政調整基金を活用した町独自の物価高騰支援事業や水道料金の一部減免事業などの9事業を実施した。今後については町の財政状況、国県の補助制度など総合的に判断して、どのような支援が町民に対してできるか検討する。

2024年4月に値上げの食品
帝国データバンク調べ

値上げ	2086品目	
	去年同月比	-48.1%
品目内訳	加工食品	2077品目
	調味料	369品目
	酒類・飲料	287品目
値上げ率	平均23%	



一般質問

戸矢 隆光

問 今のうちに窓口を作って調査・研究を

答 協議をしながら調査研究を進めたい

1 人口減少問題について
(課題)

問 人口戦略会議で今後人口が減少し消滅の可能性がある自治体として、県内の市町村の25%に当たる16の自治体が消滅可能都市に挙げられ発表された。

上里町も10年前に比べ人口が約1000人の減となっており、少子・高齢化が進むにつれて今後人口減少問題は避けて通れない課題であり、思った以上に急激なスピードで進むのではないかと。

町では立地適正化計画を優先し補助事業を考えているが、各市町村を見渡すと今後の課題として挙げられるのが学校の統合問題であり、児童・生徒の数が減少しているのが顕著にわかり、空き教室も目立つようになってきている。減少が一定の数字になれば協議を始めるとのことであるが、余裕がある今のうちに窓口を作って調査・研究をしながら対策をとるべきではないか。

答 今後の人口問題は避けて通れない課題であり、今回の分析結果は想像以上に人口減少が進んでいると危惧している。町では上里町総合振興計画の基本理念、基本目標に基づき、持続可能な町づくりを推進していく。

答 教育長 当町には1学年1学級でクラス替えが6年間できない小学校が3校あり、今後の児童数の状況や更なる小規模化、将来的に複式学級が発生する可能性を勘案し、学校統合等により適正規模に近づけることの適否を検討する必要がある。

今後、職員の人員配置を含めて町長部局と協議をしながら調査研究を進めていきたい。

2 入札結果の報告について
(今後の取組みについて)

問 入札結果の公表は広報かみさとを通じて町民に知らされているが、広域議会の全員協議会の中では指名競争入札の参加業者と金額が報告をされており、大変分かりやすく、このような

システムを町でも支障がなければ早急に導入する必要があるのではないかと。

答 入札に付した全ての案件を事業の名称、落札者、落札金額の項目について広報に掲載し周知を行っている。物品調達業務等については町のホームページに、建設工事・設計業務委託などの入札結果については埼玉県

県の電子入札システムにおいて、それぞれ案件ごとに全入札者の氏名や応札金額など、より詳細な入札結果が公開されている。

問 町では入札結果を広報かみさとを通じて掲載しているとの話だが、議員として予算に対してどのような企業が、どのくらいの金額で落札したか知っておく必要があるのではないかと。

答 周辺自治体の状況などを参考にしながら、議会の考え等も聞きながら検討していきたい。

3 事業の実施について(検証と丁寧な取組みについて)

問 上里町の事業費は前年度に比べ1.5%増の107億円で、県内23町村の7番目に多い予算規模となっている。新たな事業の中には様々な計画が含まれているが、ここ数年の傾向を見るとまだに計画だけで前に進まないものもあるように思われ、計画立案する場合には、現場の状況やそれに伴う実施機関などに常に検証を行っていく必要があるのではないかと。又、住民の説明会についても丁寧におこなっていただきたい。

答 建設事業を中心とした各種事業については、社会情勢の変化への的確な対応と合わせて、建設現場の実情や関係機関等との協議及び連携を密にしながら、スムーズな事業の進捗に努めていくと共に、各種事業の丁寧な説明と理解を求め、持続可能な町づくりを推進できるように各種計画等に基づき取り組んでいきたい。

6月25日(火)教育委員との意見交換会

今回のテーマは、部活動の地域移行と学校における教職員の働き方改革についてと上里町の児童生徒の学力アップの指導状況についての2点について意見交換をしました。

まずは地域移行と働き方ですが、現在は先生方も月45時間以上の残業はしていない状態で、土曜日や日曜日に関しても休止・廃止の方向で調整しているとの報告がありました。しかし、子供達も保護者ももっと強くなり、より活躍したいとの思いもあり、それを存続させるのはどうしたら良いかが課題で有るとの事でした。

次に学力アップの現状ですが、現在退職後の先生や大学生のボランティアで学力アップ教室の開催をしている状態

で、徐々にではあるが学力改善に向かっているとの報告を受けました。委員会としては、今後予算の確保や各種提案をして、学びたい子供が学べる町づくりを目指していきたいと強く思いました。

副委員長 金子義則



7月10日(水)11日(木) 学校訪問 及び 本庄上里学校給食センター視察

7月10日及び11日に、町内の小・中学校7校と本庄上里学校給食センターを訪問しました

今年も、昨年に引き続いての学校訪問と、新たに本庄上里学校給食センターへの訪問を行いました。令和6年に新しく選任された文教厚生常任委員にとっては初めての訪問となりましたが、各委員ともそれぞれの問題意識を持って臨みました。

各学校長より学校要覧等の資料に基づく学校教育目標や経営方針、目指す学校像・児童像・教職員像等について説明をいただき、併せて校内の視察を行いました。

給食センターでは、所長他、職員、栄養士の事業説明、質疑応答の後、調理室の見学、給食の試食を行いました。

小学校

- ①外壁改修工事が終了して外観は綺麗でも、廊下など、校舎内が痛んでいる学校もあるので、改修が必要ではないでしょうか。
- ②トイレ掃除が低学年児童にとっては大変のようで、清潔さが保たれていないように思いました。今後、定期的な清掃管理が必要ではないでしょうか。
- ③今年度から設置されたクールスポットですが、もっと沢山の事業所にご協力を頂けるとありがたいとの声を頂きました。

中学校

- ①校舎内外共にきれいに清掃が行き届いており、生徒は、みんな元気に挨拶してくれました。
- ②各教室においては、やはり小学生と違い、実に静かで、すべての生徒が授業に集中していました。
- ③中学生の35人教室では教室が狭く感じたので、もう少し少人数の方が授業を受けやすいのではと感じました。

給食センター

- ①給食調理工程ごとにエプロンを変えたりして、徹底した衛生管理が行われていました。
- ②滞納給食費の徴収や、外国人の海外転出などによる不納欠損も行っているの、今後は給食費を無償化してもよいのではないのでしょうか。

委員長 伊藤 寛



7月30日(火) 利根川治水同盟治水大会



7月30日、第74回利根川治水同盟治水大会が群馬県高崎市の高崎芸術劇場で行われました。利根川流域の各首長や議員が参加のもと流域住民の生命・財産の安全確保と福祉増進のため、国会並びに政府に対し利根川水系治水・利水事業の促進を強く要望する宣言、決議が行われました。

講演では「災害への備えと自分事化の力」の題目で国土技術研究センターの徳山日出男氏のお話を聞きました。

東日本大震災発生時に国土交通省東北地方整備局で体験された事を写真と動画を交えながら話して頂き、当時の緊迫した様子が伝わってきました。そのなかで「備えていたことしか役には立たなかった。備えていただけでは十分ではなかった。」という言葉がとても印象的でした。

上里町は災害が少ない地域と言われていますが、令和元年には避難者が出るほどの豪雨に見舞われています。

今年も日本各地で雨による災害が発生しています。その事を自分事と捉え、今一度ハザードマップを確認し、避難経路や防災用品の点検を行いたいと思いました。

石井慎也

児玉郡町議会議員 前期研修会

日付:8月1日(木)

会場:神川町役場3階会議室

演題:「災害・防災と男女共同参画」

避難所生活での課題

講師:埼玉県男女共同参画推進センター

(with youさいたま)

男女共同参画専門員 黒須さち子氏



「避難所生活での課題について」

近年では埼玉県内の河川の氾濫による大規模な災害が発生しています。これから台風シーズンに入り、その傾向はますます強くなります。山形、秋田の豪雨、今年初めの能登地震など、日本列島は地震や水害からは避けて通れない厳しい国であります。東日本大地震あるいは能登地震での被災の状況は、我々は主にテレビ報道で知らされたもので現実に体験したものではありませんが、現実の避難生活の厳しさは大変な様子であります。

関連死の5割は避難生活の疲労であると言われています。

特に被災時に困難なのは女性のプライバシーや衛生面をいかに守るかです。被災者の半分は女性であり、女性のことは女性ではないと解らないことが数多くあります。平時の要介護者や子どものケアをしているのは多くの女性です。災害時の被災者支援には女性の知識や能力が必要となりますので、避難行動要支援には男女双方で対策を進めて行き、女性が地域の役員や組織の責任者により多く就けるようにし、男女共同参画事業を勧めていくことを推進します。今回の研修で再認識しました。

猪岡壽

議会日誌

6月

- 4日 定例会開会、町長の行政報告、一般質問
5日 一般質問
6日 全員協議会
文教厚生常任委員会
総務経済常任委員会
7日 議案審議(条例改正、補正予算等)
議会広報広聴常任委員会
議会運営委員会
12日 全員協議会、閉会
25日 文教厚生常任委員会
教育委員との意見交換会
28日 児玉郡市広域市町村圏組合議会

7月

- 10日) 文教厚生常任委員会による学校訪問等
11日)
16日 議会広報広聴常任委員会
30日 利根川治水同盟治水大会

8月

- 1日 児玉郡町村議会議長会 前期研修会
2日 全員協議会、臨時議会
9日 議会広報広聴常任委員会
19日 議会運営委員会
22日 本庄上里学校給食議会



今年の一月一日に石川県能登半島で大きな地震が発生し、建物の倒壊や津波の被害などで多数の死者も出ました。又、全国的な猛暑に見舞われ、豪雨による災害が発生した地域もありました。自然の力の前での人の無力さを感じています。新型コロナウイルス

今年一月一日に石川県能登半島で大きな地震が発生し、建物の倒壊や津波の被害などで多数の死者も出ました。又、全国的な猛暑に見舞われ、豪雨による災害が発生した地域もありました。自然の力の前での人の無力さを感じています。新型コロナウイルス

植原 育雄

議会広報広聴常任委員会
委員長 高橋 仁
副委員長 植原 育雄
委員 石井 慎也
伊藤 寛
金子 義則
飯塚 賢治
戸矢 隆光

第5回9月定例会の日程(予定)

日	月	火	水	木	金	土
9/1	2	3	4	5	6	7
			(開会) 一般質問	一般質問		
8	9	10	11	12	13	14
	議案審議	議案審議		特別委員会	特別委員会	
15	16	17	18	19	20	21
	敬老の日	特別委員会		特別委員会	特別委員会	
22	23	24	25	26	27	28
秋分の日	振替休日	特別委員会	特別委員会	特別委員会	常任委員会	
29	30	10/1	2	3	4	5
	常任委員会	常任委員会		(閉会) 報告・採決		

※開会は原則午前9時です。午前中で議事が終了しない場合は、午後の再開は1時30分です。(時間は変更になることがあります。)
※議事の進行上、休憩が入る場合があります。
※定例会及び各委員会は、傍聴可能です。

第5回(9月)定例会一般質問一覧

	氏 名	質 問 事 項
4日(水)	戸 矢 隆 光	① 上里音頭の普及について ② 藤木戸勝場線について ③ 主要事業の検証について
	高 橋 勝 利	① 部活動の段階的地域移行について ② まちづくりの実現に向けて
	新 井 實	① 高齢者の労災について ② 上里町観光協会の設立とその意義について ③ 日本経済における最低賃金について ④ 災害対応に「福祉の支援」の必要性について ⑤ 「もうかる農業」の実現について ⑥ 全国学力テストの結果について
	石 井 慎 也	① 子育て支援について ② ふるさと納税について ③ かみさと郷土かるたについて ④ デジタル連絡ツールについて
5日(木)	植 原 育 雄	① 古新田・四ツ谷線の四ツ谷交差点改良について ② ウニクス交差点の定周期式信号機設置について ③ 学校給食費無償化の早期実現について
	沓 澤 幸 子	① 子育て支援と教育環境について ② 物価高騰対策について ③ 住民の健康を守る対策
	飯 塚 賢 治	① 子どもにやさしいまちづくり事業の推進について ② 災害時用の移動式水洗トイレ「トイレトレーラ」の導入について ③ リチウム蓄電池等の小型充電式電池の拠点回収について ④ 聴覚補助器等の積極的な活用への支援について
	齊 藤 崇	① 要望書について ② 諸改革について ③ 下水道終末処理場予定跡地について